

(2) 根雨小学校 (抜粋) つづき

評価項目	具体項目	目的の達成状況	自己評価
学力の向上	学習規律の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の始まりと終わりのあいさつは共通したものができている。 ・他学年の授業の様子を直接参観することにより、次の学年に向かっての意欲付けになった。 	B
豊かな人間性の育成	人権教育・特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの児童が、「学校は楽しい」「まわりの人の気持ちを考えながら生活している」「困ったときに話のできる友だちがいる」と答えている。 ・自己肯定感が、次第に高まってきた (66%→74%)。 	B
	豊かな体験活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班活動により、上学年が下学年に思いやりをもって接するようになった。 ・廊下ですれ違うときも、お互いに声掛けをして、異学年のコミュニケーションがしっかり図れた。また、下学年が上学年の掃除などに取り組む姿を見て学ぶことができた。 ・勤労生産学習、金管バンド活動、本物にふれる体験活動などで、場の認定を工夫したことにより、児童がいきいきと取り組む姿が見られた。 	A
健康・体力の増進	健康教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの児童が朝食を食べている。 ・皆勤賞が意欲づけになり、1人当たりの欠席数も減少している。 	B
	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会を2回開催し、自己記録を更新した児童も多くいた。 ・業間体育の運営を児童が行うようになった。 ・ほとんどの児童が、「業間体育の5分間走やラジオ体操、縄跳びなどに進んで取り組んでいる」と答えている。 	A
家庭・地域との連携	基本的生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの児童が、「友だちや先生、大人に自分からあいさつをする」と答えている。 	B
	家庭学習の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携や学習カードによる意欲づけなどにより、「家庭学習をきちんとしている」と答えた児童が10%アップして87%になった。 	B
	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの支援により、効果的な活動を展開することができた。 ・総合的な学習の時間や委員会活動で、おしどり荘などとの交流を深めることができた。 	B

(3) 日野中学校 (抜粋)

評価項目	具体項目	目的の達成状況	自己評価
学力向上 (進路保障)	授業改善	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでつくろう！とっとりの学び」(生徒) アンケートで10項目すべてのポイントが昨年度より上がった。 ・生徒による授業評価アンケート、保護者アンケートでも肯定的評価が上昇した。 	A
	基礎基本の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの生徒が「わかった」「できた」「力がついた」と感じ、「1時間ごとの学習内容が理解できた」と答えている。 ・授業の開始や終了のあいさつ、指名されたときの返事、全校集会などでのあいさつや返事が定着しつつある。 	B
	ICT教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭のダンスや応援練習、学級合唱練習、体育の実技、部活動練習などの様子をタブレット端末で撮影し、技能向上に活用している。 	B
	家庭学習の定着と習慣化	<ul style="list-style-type: none"> ・集会をして家庭学習の意義や目標などについて話したり、保護者の協力も仰いだりしたことで、頑張ろうとする姿が見られた。 ・全国学力・学習状況調査では、すべての生徒が「宿題は必ずする」と答えている。 	A

(3) 日野中学校 (抜粋) つづき

評価項目	具体項目	目的の達成状況	自己評価
心力向上	思いやりの心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・全校ボランティア清掃活動では、みんな意欲的・積極的に働いた。大雪の時には、生徒会執行部が、ほかの生徒のために自主的に雪かきを行った。 ・「自分にはよいところがある」と思っている生徒が多い。 ・毎月実施する「いじめのアンケート」に書かれた内容については、丁寧に内容を把握し、全身体制で直接的・間接的に指導や支援をしている。事実が解消された後も、対象生徒には定期的に声をかけ、継続して様子を見ており、同じ内容が続けて書かれることはなかった。 	B
	凡事徹底の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・全校集会でのあいさつや返事、職員室の入室マナーは定着してきた。 ・靴そろえは、全校集会などで指導し、きれいにそろえられるようになってきた。 	B
	特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学級での授業だけでなく、交流授業においても年間指導計画に個別の目標を明記し取り組み、学習の定着を図った。 	B
体力向上	基礎体力の向上、持久力・忍耐力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テストで 54 項目中 19 項目が全国平均より高く、総合得点でも 2、3 年生は上回っている（昨年度 48 項目中 7 項目）。 ・校内マラソン大会、駅伝練習の改善により昨年度より持久力が伸びてきている。 	A
	基本的な生活習慣・「早寝・早起き・朝ごはん」の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食調査では、1、2 年生は 100% が食べている。副食摂取率は 1 年生は 35%、2 年生は 53%、3 年生は 94%（9 月 15%、33%、79%）。 ・「早寝・早起き・朝ご飯」通信を定期的に発行し、「食」に関連する内容を保健室前や配膳室前、階段のステップなど校内各所に掲示し、啓発を図った。 	A
	部活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・外部指導者、日野町スポーツ推進員、指導ボランティアなどを活用し、教員の専門性を補ったり、協力して指導したりした。 ・西部地区秋季総合体育大会（新人戦）には、他校との合同チームながら、全運動部が参加することができた。 ・「ノー部活動デー」は 1 学期 1 回、2 学期に 2 回行った。1 時間の放課後学習の後、早めに帰宅することで生徒・教員共にゆとりができた。 	B
保小中連携 (日野町子ども 15 年プラン) の推進	小学校との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・保小中一貫教育推進委員会体力づくり推進部会では、小中合同陸上練習を行った。昨年に引き続き、吹奏楽部が根雨小学校に出向き、金管バンドとの合同練習を行い、3 月の「桜薫るコンサート」には小学生も出演した。 ・各小学校に掲示コーナーの設置を依頼し、中学校の活動を紹介した。 	B
	9 年間を見通した授業	<ul style="list-style-type: none"> ・保小中一貫教育推進委員会の組織改編により、部会ごとに、昨年度よりさらに小学校教員との活発な意見交換ができた。 ・毎学期、英語の教員が各小学校に出向き、外国語活動の授業を協働して行った。 ・特別支援学級での小学校保護者の授業参観を受け入れるとともに、特別支援学校、高等特別支援学校の学校公開日などの案内も行った。 	B
	小学校の授業参観、小学校への授業公開の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・一人あたり平均 2 回以上の小学校授業参観に努めた。 ・研究授業や公開授業を行うにあたり、小学校には必ず案内し、連携を図った。 	A